

## 国語科（書写）調査資料 作成の観点

書名	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <span style="font-size: 2em;">○○○○</span> <span style="font-size: 2em;">○○○○○</span> </div>	発行者番号 <div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div> 発行者名
項目		
内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <p>○書写の基礎的・基本的な知識・技能を習得させるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <p>○目的に応じて文字を書く学習について、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <p>○児童が主体的に学習に取り組むようにするために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜毛筆と硬筆との関連＞</p> <p>○毛筆と硬筆の関連を図った学習について、どのような工夫が見られるのか。</p> <p>＜各教科や日常生活との関わり＞</p> <p>○各教科等の学習活動や日常生活に生かすことのできる書写の能力を育成するために、どのような工夫が見られるか。</p>	
資 料	<p>○学習効果を高めるために、資料の内容にはどのような工夫が見られるか。</p> <p>○挿絵・写真・図表等、資料の配置や手本との関連にはどのような工夫が見られるか。</p>	
表記・表現	<p>○用具・記号などの使い方にどのような工夫が見られるか。</p> <p>○教材の内容や解説・説明の仕方について、児童の言語能力の発達の段階に応じてどのような工夫が見られるか。</p>	
総 括	（全体的な特徴、その他）	

書名 項目	<h1>新しい 書写</h1>	2 東 書
内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学年に応じて、文字を書く姿勢や筆記具の持ち方などの基礎的な内容が確認できるように、写真で示されている。</li> <li>○全学年で基本的な点画の説明を設けている。毛筆教材では、点画の種類と書き方について、2色で濃淡をつけながら示されている。</li> </ul> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○文字例や問い掛けの文で課題への気付きを促したり、「振り返ろう」では話し合う活動を取り入れたりしている。</li> <li>○課題について考える際の手助けとなるように、キャラクターの吹き出し等を随所に配置されている。</li> </ul> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全学年で、「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」の学習過程を明確に示し、見通しをもって主体的に学べるように工夫されている。</li> <li>○5・6年では、「今の思い」や「将来の夢」などを書いたり、論語を扱ったりして、自らを見つめながら文字を書く機会が設けられている。</li> </ul> <p>＜毛筆と硬筆との関連＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○毛筆の後に「生かそう」が用意され、学習内容を確認しながら硬筆で教科書に書くようにしている。</li> <li>○水書用筆等については、「いろいろな道具をつかってみよう」というページでまとめて取り上げられている。</li> </ul> <p>＜各教科や日常生活との関わり＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ポスターの書き方や新聞の書き方等、日常生活や他教科の学習における具体的な活用の仕方を、学年や学習内容に応じて示されている。</li> </ul>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○巻頭のページと折り込みでは、写真・挿絵・合い言葉等で姿勢や用具の持ち方・扱い方を示し、1・2年の巻末には水書用紙が添付されている。</li> <li>○文字の書き方や用具の扱い方などを動画で確認できるように、最初のページにQRコードを添付されている。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毛筆教材では、初めに書く上でのポイントを示し、その後に手本を提示している。</li> <li>○新出漢字や筆順の学習では、一画一画の筆順が分かるように、点画を色分けして示されている。</li> </ul>	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ねらいを焦点化できるよう「見つけよう」を設けて進めながら、「書写のかぎ」でねらいを整理する工夫がされている。</li> <li>○インデックスを付けて、学習内容が確認できるように工夫されている。</li> <li>○キャラクターに表情をつけ、力の入れ方や向き等を示すよう工夫されている。</li> </ul>	

書名 項目	<h1 style="text-align: center;">みんなと学ぶ 小学校書写</h1>	1 1 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">学 図</span>
内 容	<p>                     &lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;                      ○学習した内容を系統的に学べるように「前学年で学習したこと」を設け、全学年で教材文字の全てに筆順を示されている。                      ○毛筆教材では、始筆の角度を三角定規で示す、筆の動きを矢印で示す等の方法で、筆使いを示されている。                 </p> <p>                     &lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;                      ○学習の進め方の項目「考えて書こう」では、自分で考える場面と他者と考える場面が設定され、課題解決ができるように工夫されている。                      ○児童の思考、判断を促し表現力の育成を助けるために、キャラクターの吹き出しを使って大切なポイントが説明されている。                 </p> <p>                     &lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;                      ○全学年で、「確かめる」「考える」「生かす」学習過程を明確に示し、見通しをもって主体的に学べるように工夫されている。                      ○5・6年生では、「感謝の気持ち」を書くことで思いやりの気持ちを表したり、「思い出や印象に残ったこと」を書き、自らを見つめたりする機会が設けられている。                 </p> <p>                     &lt;毛筆と硬筆との関連&gt;                      ○毛筆の後に「生かして書こう」と「ふり返ろう」が用意され、学習内容を確認しながら硬筆で教科書に書くようにしている。                      ○水書用筆等については、「水ふでをつかってみよう」というページで、まとめて取り上げられている。                 </p> <p>                     &lt;各教科や日常生活との関わり&gt;                      ○教材となる文に物語の一部や歌の歌詞などを用いたり、都道府県の書き方を示したりして、日常生活や他教科との関連が図られている。                 </p>	
資 料	<p>                     ○巻頭の折り込みでは、姿勢や用具の持ち方や扱い方を写真と解説を付けて示し、1・2年生には水書用筆等の解説がついている。                      ○動画で文字への興味を高めるため、教材や用具の扱い方の部分にQRコードを添付されている。                 </p>	
表記・表現	<p>                     ○毛筆の手本を原寸大で掲載し、書き込み欄を多く設けている。また、初めに手本を、その後に書く上でのポイントを示されている。                      ○紙面の下部に、新出漢字を筆順付きで示されている。                 </p>	
総 括	<p>                     ○「考えてかこう」での試し書きと「書き方のカギ」を比較しながら学習を進めて、ねらいが分かりやすくなるように工夫されている。                      ○全学年に「書写のふしぎ」を設け、書写に対する関心が高まるよう工夫されている。                      ○キャラクターを使い、対話して考えることやポイントを伝えるよう工夫されている。                 </p>	

書名 項目	<h1>小学 書写</h1>	17 教 出
内 容	<p>                     &lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;                      ○学習した内容を系統的に繰り返し学べるように、「点画の種類」「前学年までの学習を振り返ろう」「学習のまとめ」が設けられている。                      ○1・2年生では運筆のリズムを意識しながらなぞりやすいように、毛筆教材では穂先の通り道が分かるように、運筆の写真や2色で濃淡をつけた資料が示されている。                 </p> <p>                     &lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;                      ○自分の課題に向かって、練習方法を工夫する活動を設けたり、学習内容を振り返る欄を設けたりしている。                      ○「考えよう」で問い掛けることにより、課題の解決に向けて考える活動が示されている。                 </p> <p>                     &lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;                      ○3～6年生で、「考えよう」「生かそう」「ふり返ろう」の学習過程を明確に示し、見通しをもって主体的に学べるように工夫されている。                      ○全学年で「書いて伝えよう」の単元を設け、「ありがとうカード」や「思い出に残る言葉」「年賀状、絵はがき」などを取り上げ、思いを表現する活動を設定している。                 </p> <p>                     &lt;毛筆と硬筆との関連&gt;                      ○毛筆の前と後に、硬筆で「ためし書き」と「まとめ書き」を教科書に書くようにしている。                      ○水書用筆等については、1、2年生で「水しょようしのつかい方」や「学しゅうのすすめ方」で取り上げている。                 </p> <p>                     &lt;各教科や日常生活との関わり&gt;                      ○かるたや活字といった生活の中の文字の書き方を写真資料とともに紹介し、発表資料やリーフレットなど各教科での活用例が示されている。                 </p>	
資 料	<p>                     ○巻頭に姿勢や用具の持ち方や扱い方を写真と合い言葉で示し、1年生の巻末には水書用紙が添付されている。                      ○文字の書き方を動画で確認できるように、「まなびリンク」として裏表紙にQRコードが添付されている。                 </p>	
表記・表現	<p>                     ○毛筆教材では初めに手本を提示し、その後に書く上でのポイントが示されている。                      ○低学年では字のマスをもつ四つの部屋に分け、書き始めの位置を部屋が分かるように示されている。                 </p>	
総 括	<p>                     ○問いが生まれる図版や、学習方法の選択ができるように配慮されている。                      ○様々な字体や筆記用具が紹介され、書くことへの関心を高めるよう工夫されている。                      ○キャラクターに吹き出しや動きをつけることで、視覚的にも大切なポイントが分かるように工夫されている。                 </p>	

書名 項目	<h1>書写</h1>	38 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">光村</div>
内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○2年生以上の全教材に「たいせつ」マークを設けて、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせるために、基本点画の書き方のポイントが示されている。</li> <li>○3年生以上の毛筆教材では、穂先の向きを示したり、筆の動きが分かるように2色で濃淡をつけながら示したりしている。</li> </ul> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○考えて学習に取り組めるように、吹き出しで問い掛けをするなど考える際のポイントが示されている。</li> <li>○3年生では、「たしかめようシール」を始筆、送筆、終筆部分に貼りながら筆使いのポイントを確認することで、学びが整理できるように工夫されている。</li> </ul> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○3～6年生で、「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の学習過程を明確に示し、見通しをもって主体的に学べるように工夫されている。</li> <li>○4～6年生で、礼状を書いたり感謝の寄せ書きをしたりと、思いを書いて伝える機会が設けられている。</li> </ul> <p>＜毛筆と硬筆との関連＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○毛筆の後に学習内容を生かして硬筆でなぞるとともに、「硬筆のまとめ」のページでも書くようにしている。</li> <li>○水書用筆等については、「水ふでで書いてみよう」というページで、まとめて取り上げられている。</li> </ul> <p>＜各教科や日常生活との関わり＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○手紙や電子メール、掲示物の書き方などを学年に応じて取り上げ、各教科の学習や日常生活における活用例が資料とともに示されている。</li> </ul>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○巻頭に姿勢や用具の持ち方や扱い方を示し、1年生の巻末に水書用紙を添付し、6年生には「書写ブック」として6年間で学習した日常生活に生かせる資料が添付されている。</li> <li>○教材一つ一つにQRコードをつけ、動画等の補助資料につながるようにしている。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毛筆教材では、初めに書く上でのポイントを示した後に、手本が提示されている。</li> <li>○教材の最後に「よくできた」「できた」の顔マークや「もう少し」等で、自己評価するようにしている。</li> </ul>	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○シールを貼って確かめることやインデックスを付けること等により、ねらいが分かりやすくなるように工夫されている。</li> <li>○「漢字図かん」を設け、漢字の成り立ち等について関心が高まるよう工夫している。</li> <li>○キャラクターに動きをつけ、書くときのイメージをもたせる工夫がされている。</li> </ul>	

書名 項目	<h1>小学書写</h1>	1 1 6 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">日 文</div>
内 容	<p> <b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b>            ○全学年で電球のマークを使って大切なポイントを提示し、毛筆教材では筆の動きが分かるよう2色で濃淡をつけながら示されている。            ○平仮名・片仮名・漢字を偏りなく学習できるように考慮し、学習課題を焦点化した文字や語句が教材とされている。         </p> <p> <b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>            ○単元の初めの「考える」やキャラクターの吹き出しによって、主体的に取り組めるように工夫されている。            ○1～3年生では、「とめ」「はらい」などの筆使いがイメージできるように、イラストを使って示されている。         </p> <p> <b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>            ○全学年で、「考える」「確かめる」「いかす」学習過程を明確に示し、見通しをもって主体的に学べるように工夫されている。            ○5・6年生では、「復興支援ソング」の一部や、「卒業に向けてのメッセージ」を扱うことで、自らを見つめながら文字を書く機会が設けられている。         </p> <p> <b>&lt;毛筆と硬筆との関連&gt;</b>            ○毛筆の後に「いかす」が用意され、硬筆で教科書に書き込みをして、学習内容を確認するようにしている。            ○水書用筆等については、1、2年生の関連する学習において、添付されている水書用紙を活用することが示されている。         </p> <p> <b>&lt;各教科や日常生活との関わり&gt;</b>            ○手紙や原稿用紙の使い方など、各教科の学習や日常生活における書く場面と目的に応じた書き方を、具体例を挙げて学年に応じて示されている。         </p>	
資 料	<p>○巻頭の折り込みで姿勢や用具の持ち方や扱い方を示し、1、2年生の巻末に水書用紙が添付されている。</p> <p>○巻頭にホームページアドレスをつけ、文字の書き方など動画で確認できるように工夫されている。</p>	
表記・表現	<p>○毛筆教材では初めに書く上でのポイントを示した後に、手本が提示されている。</p> <p>○全学年で書く姿勢と筆記具の持ち方、3年以上に毛筆用具の扱い方が写真やイラストで示されている。</p>	
総 括	<p>○「考える」「たしかめる」「いかす」の学習の進め方が示され、主体的に学べるように工夫されている。</p> <p>○「言葉の窓」を設け、文字から言葉への関心が高まるように工夫されている。</p> <p>○キャラクターの言葉にはヒントが含まれ、学びが深まるように工夫されている。</p>	

国語科（書写）調査資料2

○分量について

内容		学年	東書	学図	教出	光村	日文
1 総ページ数 ※ 目録に記載されたページ数		1年	52	52	52	48	44
		2年	48	48	42	42	44
		3年	58	60	62	60	58
		4年	54	68	62	54	58
		5年	54	62	54	56	54
		6年	54	60	54	54	54
2 綴じ込み、巻末資料等の総ページ数 ※ 目次も含む		1年	19	22	17	20	14
		2年	21	21	13	17	15
		3年	34	28	28	28	25
		4年	32	29	31	28	25
		5年	32	35	28	30	28
		6年	34	32	35	32	27
3 単元数		1年	4	7	4	5	5
		2年	3	9	3	4	5
		3年	9	8	8	6	8
		4年	9	9	8	6	7
		5年	8	7	9	6	6
		6年	8	6	6	5	7

○領域別等の教材数などについて

内容		学年	東書	学図	教出	光村	日文
1 総教材数 ※ 本編中における主たる手本の数		1年	37	49	47	46	45
		2年	39	42	55	40	53
		3年	31	24	42	36	41
		4年	28	28	38	30	39
		5年	21	25	40	29	34
		6年	24	25	28	30	31
2 手本の種別数	毛筆	1年	0	0	0	0	0
		2年	0	0	0	0	0
		3年	10	8	9	12	11
		4年	11	7	10	11	10
		5年	8	6	9	10	11
		6年	8	5	11	12	10
	硬筆	1年	34	47	44	43	42
		2年	36	40	52	37	48
		3年	12	7	21	14	17
		4年	7	12	15	8	15
		5年	6	10	20	9	13
		6年	9	12	9	11	13
3 教材の扱い種別数	毛筆と硬筆の関連を図った教材数	1年	0	0	0	0	0
		2年	0	0	0	0	0
		3年	6	6	7	7	8
		4年	7	6	7	7	8
		5年	4	5	6	6	6
		6年	4	4	4	4	3
	各教科等や日常生活に生かす視点に立った教材数	1年	3	2	3	3	3
		2年	3	2	3	3	5
		3年	3	3	5	3	3
		4年	3	3	6	4	6
		5年	3	4	5	4	4
		6年	3	4	4	3	5

○指導事項数について

内容	学年	東書	学図	教出	光村	日文
1 姿勢、用具の持ち方について	1年	7	6	6	8	6
	2年	6	6	5	7	5
	3年	7	6	5	8	5
	4年	6	4	5	5	5
	5年	6	4	5	5	3
	6年	7	4	4	5	3
2 筆順について	1年	19	20	22	19	15
	2年	18	15	18	18	19
	3年	15	12	14	10	16
	4年	13	13	16	9	17
	5年	8	11	13	13	14
	6年	6	9	12	10	15
3 文字の形、大きさについて	1年	17	15	19	15	15
	2年	16	14	11	16	14
	3年	12	11	21	14	16
	4年	18	12	16	17	20
	5年	16	11	19	15	17
	6年	16	11	18	18	14
4 配列について	1年	0	0	0	0	0
	2年	0	0	0	0	0
	3年	6	7	7	6	9
	4年	9	5	9	7	9
	5年	11	8	8	8	10
	6年	10	10	13	10	14